

# つくる会 FAX 通信

第 114 号      平成 16 年(2004 年) 6 月 16 日(水)      送信枚数 1 枚  
TEL 03-5800-8552      FAX 03-5804-8682      <http://www.tsukurukai.com>

## 教科書改善に向け 歴史的な一歩！

### 「国会議員・地方議員合同シンポ」は大成功

「歴史教科書はこれで良いのか！」      歴史教科書の現状を憂えて立ち上がった「日本の前途と歴史教育を考える議員の会（会長＝古屋圭司衆院議員）」は、自民党青年局・女性局と協力し、教科書改善協議会（略称＝改善協）の後援を得るという異例の組み合わせで、去る 6 月 14 日午後、東京・千代田区永田町の憲政記念館ホールで、「正しい歴史教育を子供たちに！」をテーマに「国会議員・地方議員合同シンポジウム」を主催しました。参加者は国会議員が約 50 名、全国の都道府県議会議員等地方議員が約 150 名、改善協関係者を始めとする一般が約 500 名で、総勢約 700 名。500 名定員のホールには立ち見の方がぐるりと取り囲み、中に入りきれない方はモニターテレビを観るといほど超満員でした。

安倍晋三幹事長からの檄（げき）

同シンポジウムを開催するにあたって、自民党は安倍晋三幹事長名の通達を発し、「自民党といたしましては、歴史教育に関し、歴史教育が国家の将来の根幹に関わる重要な課題であること      歴史教育に使用する歴史教科書の検定並びに採択は、毅然たる検定作業と公正な採択がなされることが重要であること      歴史教育の問題は憲法改正、教育基本法改正の問題と表裏一体の重要課題であること      参議院議員通常選挙の争点ともなりうること」という認識のもと、「重大な国家的課題については国、地方が一体的に取り組むことが必要」と、都道府県連に檄を飛ばしました。これにより地方議員の参加に拍車がかかったことは言うまでもありません。

教育委員を不当な圧力から守り、公正な採択を実現しよう

プログラムは国歌斉唱に始まり、まず渡部昇一上智大学名誉教授が「教科書問題とは何か」と題して基調講演、次に来賓を代表して安倍幹事長が挨拶、続いて古屋会長が挨拶に立ちました。ここで、急遽かけつけてくれた河村文科相の挨拶があって、それからパネルディスカッションに入りました。パネリストは西川京子・自民党女性局長、城内実・衆院議員、清水誠一・北海道議、横山洋吉・東京都教育長、石川水穂・産経新聞社論説委員、藤岡信勝・つくる会副会長の 6 名。下村博文コーディネーター（議員の会事務局長）の巧みな進行により、「教科書改善への展望と課題      検定と採択」をテーマに、3 年前の外圧がからんだ異常な採択戦のこと、現行教科書の問題点、採択調査資料の問題点、またしても始まり

つつある外圧の問題などを鋭く指摘しつつ、「採択制度を改善し、不当な圧力から教科書採択権者である教育委員を守り、学習指導要領にもとづき公正な採択が行われるような環境を確保する」ことが国会議員・地方議員の具体的な役割であることが提起されました。

最後に衛藤晟一・議員の会幹事長が挨拶し、国会議員・地方議員・民間運動がお互いに連携を密にしてがんばることを約束しあって盛会裡に終了しました。

歴史教科書の改善に向けて、まさに歴史的一步を踏み出したと言えるような誠に大きな意義あるシンポジウムでした。

## 西尾幹二名誉会長が河村文科相と会見

### 教科書採択制度の改善に向けた提案を直接要請

西尾幹二・つくる会名誉会長は、6月15日、都内にて河村文科相と会見し、かねてからつくる会が提案してきた「教科書採択制度の改善に向けた提案」について直接要請しました。

同提案は、教育委員会の権限と責任を明確にするため、現状の複雑かつ重層的な採択システムを抜本的に整理すること 文科省は教科書研究の基本を明らかにし、指導を強化すること 外部からの不当な圧力を排除するため、文科省及び各教育委員会は必要な方策をとること の三本柱から成るものです。

また、会見には平沼赳夫、衛藤晟一の両衆院議員も同席し、歴史教育の改善へ向けた幅広い内容の懇談が行われ、有意義なものとなりました。

## 小学校教科書の「見本本」展示会が始まります

### 実際に見て、教育委員会宛にどしどし意見を出してください

今春、検定を合格して来年から使用される小学校教科書の「見本本」展示会が、6月18日からの2週間、全国821の教科書センターで行われます。

小学校6年「上」が「歴史」、同「下」が「公民」分野にあたります。

つくる会提案の「新しい教科書」が参入している中学校教科書とちがって、小学校教科書の場合は改善運動が及んでいませんので、中学校より問題をはらんでいる教科書が目につきます。

ぜひとも展示会に足を運んで、実際に教科書を手にとって見て、会場備え付けのアンケートに答えるなどお気づきの点を教育委員会や出版社宛にどしどし出してください。「保健」、「家庭科」、「国語」などにも問題点が見つけれられると思います。

一人一人が直接出すアンケート回答やご意見は、教育委員会において、教科書採択の貴重な参考とされます。

地域によっては、展示会がもう始まっているところもありますので、最寄りの教科書センターの所在地や展示会の開催期間を各都道府県・市区町村の教育委員会にお問合せの上、お出かけください。

一人一人、誰でもできる行動です。よろしくお願ひします。